

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 20 年 6 月 26 日
事業所名	グループホーム あさひ名東
ユニット名	1F
事業所番号	2371501038
記入者名	職名主任 氏名 栗谷 智子
連絡先電話番号	052-704-5438

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>理念に基づく運営</p> <p>1. 理念と共有</p>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		<p>「あさひとは」「あさひでは」で理念を文章にしている。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>		<p>ケアステーションの中とフロアーの壁に掲示ケアカンファレンスや運営の話し合いの時等に反芻する。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>		<p>パンフレット 家族には入所時に説明し理解してもらっている。地域の人々に挨拶とコミュニケーションを心がけず スタッフが地元の人々に受け入れられる事から取り組んでいる。</p>
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		<p>散歩中の挨拶や会話をし 少しずつ日常的な付きあいができるように努めている。散歩の途中に野菜や花の苗を頂いたりしている。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>		<p>地域行事に 煮参加している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議で町内会長中心で話し合い参加できることに参加している。</p>	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価項目を、日頃実施する必要がある業務やケアのあり方と捉えている。評価での指摘事項や小戸場椅子は 真摯に受け止めレベルアップのきっかけにしている。</p>	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営会議での意見交換から 地域の住人が職員に採用された。回覧板でボランティアの募集がされた。町内会長に創作活動をやって頂いた。解説記念品を作って頂いた。</p>	
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域支援包括センターの職員に 随時施設見学に来て頂いている。全体会議に出席し虐待について話して頂いた。運営推進会議に出席して頂き家族 町内会長などと交流を持った</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>全体会議で 施設長解説で勉強した。</p>	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>施設長解説で勉強した。地域支援包括センターの職員に 講義をしていただいた。虐待や不適切な行為 言動を会議で全職員に報告し 名場悪いのか どうやってなくすのか検討する。ほぼ毎月</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際は書類の不備が無いよう最新の注意を払い 相手に契約内容を分りやすく説明し明確化する。</p>	<p>相手が不安にならないように契約時等はその閑居移せ乗に勤める</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者や家族から申し出に対して対処している。運営推進会議に出席して頂いた。「意見・苦情・要望対応書」を届け ルール化している。</p>	<p>利用者と面談の機会を作る</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>運営者 管理者は随時 利用者の情報を家族などに報告するようにしている。</p>	<p>報告内容がより充実したものになるように努めたい</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>管理者は開かれた事業所作りに努め随時家族からの意見を求める。意見箱を設置している。面維持に個別に報告している。運営推進会議に家族に出席して頂いている。</p>	<p>意見箱を設置している。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議を月1回設け意見を言う場を作っている。</p>	<p>全職員が運営に対して意見を持ちその意見を伝える場を作る。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>管理者が、職員がより働きやすい環境を提供する。事故の多い 食事時間や不安定になりやすい夕刻に気定数移乗に 配置している。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者は極力職員の移動を避け、やむをえない場合は代替職員の配置を早急に行う</p>		<p>職員は 利用者と家族のような関係である事から安易に利殖をしないように心がける。</p>
5. 人材の育成と支援				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>業務管理表で 新人の進捗状況を把握を新人自身も管理者もできるようにしている。正しい業務がされているかどうかを確認している。</p>		
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会の研修に参加した。名介研の集まりに参加している。法人内の他施設と視察しあい アドバイスをした。</p>		
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>常に職員に気を配り 職員個々から意見を言いやすい環境づくりに努めている。</p>		
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>1 2月の賞与は人事評価を加味している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>インテーク(初回面接)に時間をかけるようにしている。家族も出る限り多数の人からケアマネージャー 利用サービススタッフなどにも情報を求め より深く理解できるようにして凝る。</p>	<p>面接技術を磨く。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>初回面接に関わる職員は内容をきちんと理解し 解り易い言葉で家族に説明している。</p>	<p>面接技術を磨く。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>内容を把握し必要な情報を提供している</p>	<p>幅広い知識を持ち公平、中立性を重んじる。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者の状態を正しく理解し段階を通じてサービスを提供している</p>	<p>事業所の明るい雰囲気作りに努める。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>一緒に作業や調理をする等コミュニケーションをとる事を心がけおばあちゃんの知恵袋の拝借や昔話を聞いたり知らない事を教えてもらう。各自が回想できるように話をする。</p>	<p>利用者との関係を良好に保つように努める。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族の不安解消に努め 家族支援に力を入れている。</p>	<p>利用者 家族 職員という関係作りを大切にしてい</p>
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>利用者と家族の関係が良好なものになるよう職員は見守りや声掛けを行っている。</p>	<p>利用者と家族の関係を観察し必要なアドバイスを行っていくように努める。</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>利用者のこれまでの生活が途切れないように配慮しながらこれからの生活を楽しめるように工夫している。</p>	<p>個別処遇を定期的に行い評価をし次に繋げる。</p>
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>現場職員が間に入りよりよい関係作りに努めている。個人個人の安定貸しウ断の環形作りの基本と考えて実践している。</p>	<p>よりよい関係作りに加え、トラブル防止にも努める。</p>
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>サービス利用が終了しても 次の利用者及び家族からの問いかけには誠意を持って答える</p>	<p>再契約の機会があるかもしれない と言う事を踏まえ利用者及び家族との関係は良好に保つようにする</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>随時面談の機会を設ける 更に 日頃の会話から本人のニーズを掘り起しケアプランに反映している。</p>	<p>介護職員は日々の変化に気づきケアプランに反映させる。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>理解するために 身元引受人を中心としあらゆる人から情報を取る。また 身元引受人でも あらゆる機会を使い テーマを設定して情報を出して頂く。何度も何度もする。それを基盤にして各人の人格や過去を理解し的確なサービスを提供するシステムにしている。</p>	<p>過去と現在を融合させるケア内容を提供する。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>個別の能力をそれぞれにあったサービス内容を提供している。</p>	<p>その人のできること できない事を把握し無理の無いサービスを提供する。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>居室担当介護者 主任介護者 管理者 計画作成者 場合によっては 主治医等の外部の人も参加するサービス担当者会議を開催し、ケアプランの充実を図っている。</p>	<p>ケアプランの内容を実践し改善していくようにする。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の指定期間での見直しと共にそれ以外にも利用者変化に応じケアカンファレンスを開いて現状に即した介護計画を作っている。</p>	<p>ケアプラン立案時にアセスメントを取りケアプランに生かすようにする。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子 ケアの実践内容等を時間帯で個別に記録し介護計画の作成や実践に役立てている。実践状況を把握する事で より後折りの計画を作成できるようにしている。又 個人の状況をデータとしてまとめる事でより客観的な評価に基づいた合目的な計画を効率的に作成できるようにして		ケアプラン立案時は必ず 個別記録を参照する。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	受診や理美容の同伴等 家族の状況や本人の希望や能力に応じて提供している。		より充実したケア内容の提供を目指している
つ				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域との連携を密にし 情報公開に努める。		社会性のある事業所であり続ける努力をする
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	今までにその必要があった事例は無いが 決まりとして可能ならば必要に応じて実施する。		公平 中立性のある事業所を維持していく。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	私怨支援センターのケアマネジャーとの連携も大切に情報入手に力を入れている。随時ソヴンしている。施設に見学に来る。職員会議に参加して頂いている。		包括からの情報や私事を把握し質の向上を目指す。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	医療機関との関係を良好に保つよう努力している。	異常の早期発見に努める。
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	包括支援センターの職員に相談する。個別で精神科受診をする。	認知症の碑戸に対して専門的な対処
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	健康管理は看護師が責任を持って行っている。	
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	特にしていない	
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化しないようにケア方法を決め実施している。必要な処置については できる事は指示をしている。すべてについて前もって主治医に報告し相談し 体制を作っている。(入院の受け入れ)	
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	重度にしないケアプランが立てられ実践されている。看護師が医療機関連携を取っている。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>移転先に サマリーとして全ての情報を提供している</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報は 個人別に管理し本人の身元引受人 それに充当する人 本人以外には見せない。言葉掛けなどについては 居室で話す 小声で話すなどの配慮している。</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>会話や動きの中で判断できるようにしている。「こうしてください」だけでなくさらに「それでいいですか」と追加して意志を表出しやすいように心かけている。</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>する事を押し付け 何が何でもしてもらうのではなく 本人に適当でなければ臨機応変に対応している。アルツハイマー病利用者 に効果が出ている。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>本人が望む美容院につれていっている。日々のおしゃれやみだしなみを楽しめる支援をしている。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内 容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳等食事の前後にやって頂いている。簡単な食材の調理をして頂いている。		
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	要望があれば アルコール類を出す。おやつや水分補給時の飲み物については希望を伺い提供している。		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンを把握し紙おむつをリハビリパンツに替えたり リハビリパンツを普通の下着にしたなどの実績がある。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるよう支援している	個別性を重視し ゆっくり快適に入浴をしていただけるよう努力している。		維持して今のケアを提供していく。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ひとりで眠れない人と添い寝をしたり 食堂で眠っていただいたり眠る時刻を保本人の状態に合わせる等している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食前後の家事 洗濯物の片付け 掃除 ゴミ箱作りなど 定時又は 随時に一種にやっている。		


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	身元引受人の意向により 小遣い程度の金銭を自己管理している人もいる。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎週水曜日には 出かける。全員はできないが 各自の希望は勿論、 そのときの状態 回数などを考慮している。 その曜日以外でも可能な限り外出している。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	定期の外出日以外にも 会話の中などから 情各利用者の希望を知り日頃の 少人数で出かけている。		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要があれば 介助もし 手紙については だしている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	生活の中で必要があれば ホームから面会を依頼する事もある。 守秘義務の範囲で提供できる情報を話して本人の安らぎにつなげている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束は内容を全員に学習すべく全体会議で取り扱われている。日頃のカンファレンスで必要なケースにおいては確認している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	居室には鍵は掛けられていない。利用者の安全からフロアの出入りについては ボタンを押してあく仕組みのドアで開放しないようにしている事もある。	
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	安全配慮 プライバシー確保共に 配慮はしている。数時間関わりが無い時は1時間に1度を原則にして状態を確認し記録している。	
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	危険防止だけにとらわれずその人の状態に合わせた環境づくりを行っている。	継続して今のケアを提供する
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	全体会議で 事実あった事例を報告され注意を促されている。ケース内容について説明される事もある。実践中に直接指導することもある。	
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	マニュアルとして 投一事項 。手順は誰でもわかっているようにしている。	
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	防災訓練を行っている。	継続して 防災訓練を行うようにする。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>リスクマネジメントに取り組んでいる。家族への説明も行っている。</p>	<p>継続してしまっていることを行うようにする。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>意識付けを図っている。申し送り 連絡ノートで各自が着ついた事をほかスタッフに伝える事になってる。。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬についての知識は不足している。特別な場合は看護師から指示がや明があるが 常識的なものについては勉強していない。</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>連続する排便の最終日をカルテに記録するなど排便状況を管理している。3日以上続いた時点で 指示されている処方をするか看護師に報告し指示を受けている。</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後 歯磨きをやっている。</p>	
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>1日の食事はカロリーで調整している。間食として食事以外に食べ物を出す事もある。水分はその摂取量を管理している。日あたり1000ちそそから15000円が標準。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗い うがいを励行している。感染が活発な時期はスタッフや外来者はマスクを付けている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	ホームに長く置かないために 買出しを1週2回している。毎日 まな板や食器などを消毒している		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている			
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花。日差しが強い日はレースのカーテンをする。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファが於いてありそこに座って話す事ができる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今までの使い慣れたものを使っていただき安全か使い心地のいい居室で過ごせるよう心掛けている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	窓をこまめに開け閉めし空気の入替え換気、湿度の調節に心掛けている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりをつけ 廊下に障害物が無いようにしている。利用者一人ひとりの身体機能に対する個別ケアを実施している		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	家事、洗濯、台所など一緒に作業 コミュニケーションを実施している。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダ庭に畑、憩いの場を作り団樂を楽しんで頂くスペースの確保と安全		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> 大いに増えている <input type="radio"/> 少しずつ増えている <input type="radio"/> あまり増えていない <input type="radio"/> 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)